



### ■3D教育プログラム導入の経緯

本校では、生徒指導の補助的な資料として、かつてはA O I 式性格検査を利用していました。ところがこの検査を主催していた先生が亡くなったため、判定が曖昧になり、新たな性格検査の導入の必要性が出てきました。また、新学習要領で総合学習が中・高ともに必修となったわけですが、年間で計画しているLHRがクラス担当教員の裁量の範疇になっていくという背景がありました。

について研究を始め、LHRはエンカウンター方式による実践について研究を始めていたところ、KA教育の菊地さんと出会い、この3D教育プログラムのグループコミュニケーションによる自己啓発及びエゴグラム性格検査がまさに本校の模索していた方向性と一致したため導入に至りました。

### ■グループコミュニケーションの取り組み

そこで、性格検査とLHRの活用について、性格検査は前から興味があったエゴグラムによる性格検査

このグループコミュニケーションは他の人の意見に耳を傾けながら、自分の考えを客観的にとらえつつ、論理的に構築する授業を1年間の

を活用して実施しています。土曜日の時間は自宅学習や行事、模試にも当てられるため、年間13回程度の実施となっております。

の親と子のコミュニケーション」との題でKA教育の菊地さんから講演をしていただき、保護者に対する理解と家庭での協力もお願いしています。

### ■公開授業について

実施形態は担任が中心ではありませんが、年に数回副担任が実施したりもしています。教師の中にはこのグルコミ(グループコミュニケーション)が得意な教師と不得手な教師がいるのは仕方ないことですが、それでも他の分野に振り替えることは禁止にしています。今では、これを始めて7年がたち、それなりに教師に個性はあってもグルコミは成り立ってきていると感じています。

昨年度からグルコミの校内研修として公開授業を始めました。本校の教師やこのグルコミを行なっている他校の先生方に公開し批評をいただき、今後の参考にすることを目的に、昨年度は10校あまりの先生方が見学に足を運んでいただき忌憚のない意見交換をすることができました。学校の中では積極的に研修した



インタビュー  
教頭 片倉 敦 先生

## コーチングに通ずるエンカウンター方式で 生徒が自分を変える努力の方向性が見えてきた

カリキュラムにそって重ね、教師もエンカウンター方式で生徒と同じ目線で話をします。内容も様々でディベートの方法を学んだり、価値観について討論しあひ他の人の違った考え方にふれたり、トラストウォークといって目の不自由な人たちの大変さを実感するためにアイマスクをし、クラスメートに誘導してもらい校内を歩く体験もあります。体験後にグループで話し合い、感想を報告し、意見を交換し合います。



このグループコミュニケーションを通して自己を見つめているうちに、興味や関心がしばらく将来の自らの進路の方向性を見いだすこともできます。

### ■成果と課題

生徒との面談時には、エゴグラムによる傾向を意識した話を行ない、その生徒の良い点は多いに伸ばし、足りない点は毎日の行動を点検し習慣を変えることで啓発的に自己変革ができる事を伝えています。自らが意識し自分を変える努力の方向性が見えてきています。また、体育祭や文化祭といった学校行事は生徒会と実行委員会が中心となり、生徒が中心に行なうようになってきました。話し合いを粘り強く行なう事ができるようになり、毎年工夫された行事になっています。これもグルコミの成果の一つと考えています。

これからの課題については、何年も行なっているとはまだ十分習熟していない段階でもマンネリ化して多少手抜きになるところが始めました。そこで、知識としての理論や公開授業などを研修として取り入れ、その中で特に公開授業は教師の刺激になり、効果的だと考えています。また、教材を深く理解し習熟する

### ■グループコミュニケーションのねらい

このグループコミュニケーションのねらいは「エゴグラム診断」に基づく性格・生活の改善と向上も同時になされる点にあります。生徒はまず、エゴグラム性格診断をうけ客観的に自己の性格が判断できます。エゴグラムでは「性格は心のクセであり、毎日の習慣的な行動となってあらわれてくる。したがって毎日の行動が変われば性格も変わってくる」と定義されています。

グループでのワークショップを通じて、たとえばCP(責任感・努力家・規則を守る)を上げるための教材を使用することで知らず知らずのうちにCPが上がり自己啓発に繋がります。また、目標達成シートを利用して、毎日の行動パターンを変える努力を行います。そして1年の最後に再度エゴグラム診断を行ない自らの成長を確かめることができます。

グループでのワークショップはコミュニケーション能力を身につけると共に、自己を啓発し向上させることが目的になっていると思います。

### ■どのように実施されていますか

本校では教務部を中心に各学年に係をおき、中1から高3まで全校全体で、土曜日のLHRの時間70分間

努力が足りない所があり、準備の時間が十分取れるよう工夫することも必要だと思えます。教師全体がモチベーションを高く持ち、主体的に取り組めるよう今後とも工夫をしていきたいと思っています。

## ★『3D教育プログラム』でココが変わった！

- ・エゴグラムで、自分を変える努力の方向性が見えてきた
- ・学校行事で生徒が中心に行なうようになった
- ・グルコミを通して、アイデンティティを確立できるようになった